

1成分形変成シリコーン系シーリング材

KFスペシャルシーラント

KFケミカルの得意とする1液化技術、
高耐候性付与技術、評価技術をもとに、
高耐候、低モジュラス1液、優れた作業性をもつ
変成シリコーン系シーリング材を開発致しました

高耐候性

メンテナンスサイクル削減

優れた塗料密着性・耐リフティング性

無機・ウレア系塗料との相性◎

低モジュラス1液シーラント

建物の動きに追従

優れた作業性・安定性

打設し易く、垂れない貯安性良好

優れた防汚性

建物の景観を損なわない

優れた接着性

様々目地に対応可能

KF Special Sealant

1成分形変成シリコーン系シーリング材

用途

構成	基材	適用
ジワ ヨイキ ントグ	窯業系サイディング	○
	金属系サイディング	○
	A L C	—
ジノ ヨンワ ントキ ング	R C、P C a	○
	タイル目地	○
	A L C	○

接着性

専用プライマーを使用する事で、様々な被着体に施工可能

基材	密着性
モルタル・スレート	○
窯業系サイディング	○
金属系サイディング	○
硬質塩ビ	○
A B S	○
F R P	○
塩ビサッシ	○
メタクリレート焼付アルミ	○
ポリエステル焼付アルミ	○
塩ビ鋼板	○
ポリエチレン	×
ポリプロピレン	×

使用量

カートリッジ（333ml）1本あたり

施工可能m数 (目安)	目地幅（mm）			
	8	10	12	15
5	6.9	5.6	—	—
6	5.8	4.6	3.9	—
8	4.3	3.5	2.9	2.3
10	—	2.8	2.3	1.9
12	—	—	1.9	1.5

4ℓペール缶1缶あたり

施工可能m数 (目安)	目地幅（mm）			
	8	10	12	15
5	83.3	66.7	—	—
6	69.4	55.6	46.3	—
8	52.1	41.7	34.7	27.8
10	—	33.3	27.8	22.2
12	—	—	23.1	18.5

ロス率20%で計算した目安となります

荷姿

カートリッジ

品名	容量	入数
K Fスペシャルシーラント	3 3 3 ml	1 0 本
ノズル 10個・プライマー 100ml×1缶・刷毛 1本同梱		

ペール

品名	容量	入数
K Fスペシャルシーラント アフターカラーベース	3.6 ℥ (4 ℥ペール缶)	2 缶
プライマー 100ml×4缶・刷毛 2本同梱		
※別途専用カラー（0.43kg）を必ず混合してください		

専用プライマー（単品出荷時）

品名	容量	入数
K Fスペシャルシーラント	1 0 0 ml	1 0 缶 / 1 箱
専用プライマー	5 0 0 ml	1 2 缶 / 1 箱

KFスペシャルシーラント

標準用・冬期用

	標準用	冬期用
使用時間	3~11月	2~12月
想定乾燥時間 23°C	7時間	4時間
想定乾燥時間 5°C	7.2時間	3.2時間

一般的な目安です

「標準用」と「冬期用」の識別方法及び出荷切り替え時期等については販売代理店様や弊社各事業部宛にお問い合わせください。

標準色

カートリッジ 10色

ペール缶 専用カラーパック（別売り）94色

専用カラーパックについてはシーリング材用の攪拌機にて混合ください。
詳細については別途お問い合わせください。

注意事項

- ガラス窓には使用できません。
- 気温が氷点下となる場合は施工を避けてください。また、埃や砂などが付着しない様に注意してください。
- 降雨・降雪時等下地が濡れているときは施工を避けてください。
- 外壁材小口に既存のシーリング材やプライマーが存在していると、密着性が低下し剥離が発生する恐れがありますので、小口を薄く削り撤去してください。
- 目地幅については8mm以上20mm以下にしてください。尚、目地深さは目地幅を超えないようにしてください。
- ワーキングジョイントの場合、必ず二面接着となるようにしてください。三面接着となるとシーリング材の切れや剥離が発生する可能性があります。
- 外壁材の劣化により目地幅が拡大している場合、バックアップ材などを用い、二面接着となるように調整をしてください。
- マスキングテープは、被着面に粘着剤が残らないものを選定し、目地幅に合わせて圧着させるように貼り付けてください。
- 被着体の乾燥硬化前にマスキングテープを貼り付けた場合、跡が残るので必ず乾燥硬化している事を確認してください。
- プライマーは必ず専用プライマーを使用してください。
- 被着面に汚れや油分が無く、被着面が乾燥硬化している事を確認してからプライマーを塗布してください。
- プライマーの塗布後、乾燥を十分に行ってください。
(目安:23°C15分以上、5°C30分以上)
- プライマー塗布当日にシーリング材を打設できなかった場合や、シーリング材打設前に被着面が降雨等により水分が接触した場合は、被着面を乾燥後に専用プライマーを再塗装してください。
- シーリング材の打設は、ノズルの先端を目地底に接触させながら、途切れの発生しない様に打設してください。
- 打設後のシーリング材は、最初に金ペラ等でシーリング材を押し込み、次に仕上げバッカー等で表面を平滑に抑えてください。
- 気泡が残ると密着性が低下するため、十分に押込んでください。
- マスキングテープについてはシーリング材の表面が硬化する前に除去してください。硬化が進んでしまうと糸引きの要因となり、外観不良となりますので注意してください。
- 外壁材や部材に付着したシーリング材やプライマーは変色や汚れの要因となるため、硬化前にウエス等で拭き取ってください。
- 増し打ちを行う場合、劣化したシーリング表面はブラシやバフ掛けを実施してください。また、必ず増し打ちを行うシーリング材の専用プライマーを使用してください。
- サッシ廻りや入隅については構造によっては三角打ちとなりますが、シーリング材表面が10mm程度になるように実施してください。
- シーリング材は開封後は当日中に使い切ってください。
- 火気のある場所では使用しないでください。
- 目にに入った場合は、多量の清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 冬期は硬化に時間がかかりますのでご注意ください。
- シーリング材上の塗料は、塗料の種類や塗布量、施工条件により施工後に割れや縮みが発生することがあります。

※詳しくは安全データシート(S D S)を参照ください

KF KFケミカル株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング9F

建築塗料事業部 TEL 03-6629-9033 FAX 03-6629-9023

建装事業部 TEL 03-6629-9032 FAX 03-6629-9022



2025.11